



生駒市立上中学校

校長室だより

第 8 号

令和 6 年 10 月 3 日
上中学校 TEL. 78-4140



みんなで作り上げた 最高の体育大会 感動をありがとう



10月10日(木)第43回体育大会が無事終了しました。今でも閉会式での静まり返った空間、心地よく感じる風と達成感あふれたみなさんの顔がよみがえってきます。体育大会前は雨天続きで、予行練習も時間短縮しての実施でしたが、当日は皆さん一人一人が自分の責任を果たし、もてる最大のかで何事にも取り組んでくれました。

今年度の体育大会は、生徒会が生徒の皆さんの意見を聞き、体育科の先生方と協議をして決められた競技種目、障害物競走や借り物競走がありました。やる気だけでなく、作戦も大切になってくる学年種目、部活動対抗リレーも見ていてちょっと楽しい時間もありましたね。またデカパン競走やムカデ競走は○人△脚で足をつなぐバンドが途中外れやすいなどの昨年度の反省を踏まえて生まれ変わった種目です。デカパンの色も本校の色団の色はなく、先生方が染色したパンツもありました。ムカデ競走の足の板も、台風の目のパイプのバトンも先生方の手作りです。各競技の熱戦だけでなく、色団の団長・副団長で繰り広げられた応援パフォーマンスも体育大会を盛り上げてくれました。最後の上中ソーラン、本番を實に見事に、息を合わせて演じきってくれました。そして各色団では、椅子に座る間もなく応援する姿もとても印象に残っています。保護者の皆様には最後の選手が走り切るまで、温かい拍手で生徒たちを応援していただき、まさに学校全体が、会場中が一体となってみんなで作り上げた体育大会となりました。感動をありがとう。



保護者の皆様へ

育友会の各委員会の活動が10月に行われました。
活動部によるクリーンキャンペーン(21日)、朝早くから、また出勤途中の方にもご協力いただいています。



教養部よるフラワーリース作り(24日)、保護者の学年の垣根を越えて歓談しながらの制作で、同じ材料ですが出来上がりはみんなちがう素晴らしい作品に仕上がったようですね。忙しいお母さん方、こんな時間もあるのもいいかと今回は思考を変えての教養部の活動でした。

また人権推進委員会からは今年度は光華大学看護福祉リハビリテーション学部より越智紀子先生をお招きし「親も一緒に乗り越えたい～思春期の子どもとうまくかかわるためのヒント」と題して校内人権研修会(26日)が開催され、生駒市人権政策課からもご参加いただいています。「わが子の素敵なことはなんですか？」から始まったお話、時間が経つのも忘れるくらい思春期のこどもたちのこと、お話

いただきました。

そして学校保健委員会も29日に開催、養護教諭山口美春先生から本校の身体測定の結果等について、今年度は本校に所属している栄養教員の横山佳祐先生(普段は給食センターに勤務)による「スポーツと勉強時の栄養について」のお話がありました。

縁あって集まった育友会役員の皆様には生徒達、学校のためにだけでなく、保護者の皆様の様々な活動をご考案いただき進めていただいておりますことに感謝いたします。またその活動にご参加いただく皆様の一つでも多く見聞を広められることはとても素晴らしいことだと思います。

多数ご参加いただき、ありがとうございました。子ども達のより良い成長を共に支えられるよう今後もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

